

中村弥市商店

中村弥市商店(なかむらやいちしょうてん)

建築年:大正11年
(1922)
(国登録有形文化財)

中村家は、明治初期から昭和初期にかけて質屋、米穀商、糸商、戦後から現在の塗装店、塗装業を営んでいます。敷地内には、明治27年(1894)から昭和12年(1937)にかけて建築された、文庫蔵、新座敷、奥座敷、石蔵、浴場、門が配置されています。

中村弥市商店は、間口6間、奥行40間の敷地割りに対して北側に建物を配置し、北側の壁面が土蔵造となった防火壁を設けています。南側に門、通路を設け、店構えも創建当時の姿を残し、桐生新町の特徴を良好に残しています。



見て!「宇」の字の丸瓦だよ。

となりの駐車場のすみに、
すてきな彫刻があるよ。



「想い」という題名で、
丸尾康弘さんが2005年に
つくったって、書いてあるわ。

